平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名　株式会社 ネプロジャパン　　上場取引所　大
コード番号　9421　URL　http://www.nepro.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 筒井　俊光
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長　(氏名) 野澤　創一　TEL 03-6803-3976

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,340	22.6	204	△15.1	51	△74.8	89	―
24年3月期第3四半期	10,878	△5.1	241	―	203	―	△73	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△37百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△41百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3,427.58	―
24年3月期第3四半期	△2,824.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,786	1,551	16.5
24年3月期	7,312	1,589	13.7

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　1,119百万円　24年3月期　998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				2,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	16.0	350	△18.6	200	△51.4	150	348.7	5,755.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	26,752 株	24年3月期	26,752 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	690 株	24年3月期	690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	26,062 株	24年3月期3Q	26,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速等の不確実性は依然としてあるものの、国内需要は底堅く推移するとみられ、また、政権交代に伴う経済政策への期待による円安や株高の動きが進んでいることから、海外経済の状況が改善するにつれ、穏かに景気回復へ向かうものとみられております。

一方、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場は、スマートフォンの普及を背景に、より高速なモバイルインターネットへの需要が高まるなか、当第３四半期にて通信事業者各社からLTEサービスが出揃うこととなりました。合わせて各社新商品においても、LTE対応をはじめ、バッテリーの大容量化や5インチ前後の大型のディスプレイを搭載した機種が登場しております。

このような状況のなか、当社グループでは、スマートフォンの販売比率の増加による接客応対時間の長時間化の対策として、店舗の大型化や人員の充実を進めるとともに、効率的な接客応対体制の構築に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、平成23年９月９日に連結子会社とした㈱モバイル＆ゲームスタジオの連結業績への寄与等により、13,340百万円と前年同期と比べ2,462百万円(22.6%増)の増収となりました。

営業利益は、携帯電話専売店及びパートナー代理店各社の販売は引き続き堅調に推移したものの、都心部の一部販売店において、周辺の競争激化から販売台数が減少したことにより、204百万円と前年同期と比べ36百万円(15.1%減)の減益となりました。

経常利益は、一部取引先の財務状況が悪化したため、当該取引先に対する貸付債権及び営業債権に対して貸倒引当金を計上したこと等により、51百万円と前年同期と比べ152百万円(74.8%減)の減益となりました。

四半期純利益は、今後建替え、移転又は閉鎖予定の店舗設備等に対して減損損失を計上したことに加え、法人税等及び少数株主損失等を加減した結果、89百万円の四半期純利益(前年同期は73百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①移動体通信事業

当セグメントにおきましては、当社にて特定の移動体通信事業者の端末・サービスを取り扱う携帯電話専売店(キャリアショップ)、連結子会社である㈱キャリアフリーにて複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、携帯電話専売店及パートナー代理店ルートによる販売が引き続き堅調に推移し売上は増加したものの、都心部の一部販売店において、周辺の競争激化から販売台数が減少したことにより、売上高は11,538百万円と前年同期と比べ1,137百万円(10.9%増)の増収となるも、セグメント利益(営業利益)は442百万円と前年同期と比べ130百万円(22.7%減)の減益となりました。

②モバイルゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)モバイル＆ゲームスタジオにてゲームコンテンツの企画・制作を行っております。当第３四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,511百万円、セグメント利益(営業利益)は16百万円となりました。

(株)モバイル＆ゲームスタジオは、平成23年９月９日より連結子会社としているため、前年同期比は算出しておりません。

③その他

当セグメントにおきましては、人材コンサルティング事業等を行っております。人材コンサルティング事業につきましては、連結子会社である(株)シーズプロモーション(旧(株)ネプロサービス)にて当社グループ移動体通信事業の店舗に対する人材派遣及び携帯端末メーカーから委託を受け携帯電話の販売プロモーション等を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、売上高は475百万円と前年同期と比べ4百万円(1.0%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は12百万円(前年同期は24百万円のセグメント損失)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間の総資産は、6,786百万円となり前連結会計年度末と比べ526百万円の減少となりました。主な要因は売掛金の減少207百万円、差入保証金の減少310百万円等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間の負債は、5,235百万円となり前連結会計年度末と比べ488百万円の減少となりました。主な要因は買掛金の減少204百万円、一年以内返済予定長期借入金の減少202百万円等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間の純資産は、1,551百万円となり前連結会計年度末と比べ37百万円の減少となりました。主な要因は四半期純利益89百万円、少数株主持分の減少157百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきまして、平成25年２月13日付「業績予想の修正及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」にて、下記のとおり修正しております。

売上高	18,000百万円	(前回予想は16,500百万円)
営業利益	350百万円	(前回予想は500百万円)
経常利益	200百万円	(前回予想は450百万円)
当期純利益	150百万円	(前回予想は250百万円)

詳細につきましては,平成25年２月13日付「業績予想の修正及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	568,697	632,379
売掛金	2,252,194	2,045,063
商品	678,908	872,398
仕掛品	174,928	12,964
貯蔵品	2,960	11,011
その他	364,603	430,412
貸倒引当金	△2,853	△2,853
流動資産合計	4,039,439	4,001,375
固定資産		
有形固定資産	378,617	310,709
無形固定資産		
のれん	259,321	216,101
その他	88,939	67,236
無形固定資産合計	348,261	283,337
投資その他の資産		
差入保証金	1,269,625	958,836
繰延税金資産	932,793	850,311
長期未収入金	877,223	850,481
その他	457,337	552,117
貸倒引当金	△990,328	△1,020,304
投資その他の資産合計	2,546,651	2,191,441
固定資産合計	3,273,529	2,785,488
資産合計	7,312,969	6,786,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,548,137	1,343,251
短期借入金	1,208,134	1,407,425
1年内償還予定の社債	150,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	900,447	698,100
未払法人税等	45,141	19,498
賞与引当金	86,479	32,195
その他の引当金	6,496	8,402
その他	911,920	824,283
流動負債合計	4,856,756	4,383,156
固定負債		
長期借入金	503,549	515,756
退職給付引当金	111,656	113,937
その他	251,944	222,491
固定負債合計	867,150	852,184
負債合計	5,723,906	5,235,340

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	345,825	345,180
利益剰余金	88,788	178,762
自己株式	△28,635	△28,635
株主資本合計	998,822	1,088,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	31,012
その他の包括利益累計額合計	－	31,012
少数株主持分	590,240	432,359
純資産合計	1,589,062	1,551,523
負債純資産合計	7,312,969	6,786,864

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	10,878,300	13,340,306
売上原価	8,136,237	10,573,143
売上総利益	2,742,062	2,767,163
販売費及び一般管理費	2,500,589	2,562,189
営業利益	241,472	204,973
営業外収益		
受取利息	17,523	5,981
受取手数料	26,272	15,757
不動産賃貸料	5,555	5,378
その他	6,771	5,870
営業外収益合計	56,123	32,988
営業外費用		
支払利息	58,833	53,704
支払手数料	2,833	2,444
持分法による投資損失	32,356	－
貸倒引当金繰入額	－	129,976
その他	236	592
営業外費用合計	94,259	186,717
経常利益	203,336	51,245
特別利益		
投資有価証券売却益	18,684	4,043
関係会社株式売却益	58,066	－
特別利益合計	76,750	4,043
特別損失		
固定資産売却損	2,843	1,000
減損損失	－	52,679
投資有価証券評価損	79,709	17,405
貸倒引当金繰入額	291,972	－
賃貸借契約解約損	－	19,200
その他	12,561	1,610
特別損失合計	387,087	91,896
税金等調整前四半期純損失（△）	△107,000	△36,607
法人税等	△17,340	31,943
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△89,660	△68,551
少数株主損失（△）	△16,038	△157,880
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△73,621	89,329

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△89,660	△68,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	31,012
持分法適用会社に対する持分相当額	48,260	－
その他の包括利益合計	48,260	31,012
四半期包括利益	△41,400	△37,539
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,361	120,341
少数株主に係る四半期包括利益	△16,038	△157,880

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,400,263	254,773	10,655,036	223,263	10,878,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	246,957	246,957
計	10,400,263	254,773	10,655,036	470,221	11,125,257
セグメント利益又は損失(△)	573,209	8,253	581,463	△24,975	556,488

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	581,463
「その他」の区分の損失(△)	△24,975
セグメント間取引消去	171
全社費用(注)	△315,187
四半期連結損益計算書の営業利益	241,472

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,538,200	1,511,970	13,050,170	290,135	13,340,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	184,896	184,896
計	11,538,200	1,511,970	13,050,170	475,031	13,525,202
セグメント利益	442,875	16,640	459,515	12,948	472,464

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	459,515
「その他」の区分の利益	12,948
セグメント間取引消去	38
全社費用(注)	△267,528
四半期連結損益計算書の営業利益	204,973

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信事業」セグメントにおいて、今後建替え、移転及び閉鎖予定の店舗設備等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては43,592千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年６月28日開催の第21回定時株主総会において、利益準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する決議をいたしました。この結果、第１四半期連結会計期間において繰越利益剰余金が24,374千円増加し、利益準備金が23,729千円、その他資本剰余金が644千円減少しております。